

2010年10月30日

2009年度学校関係者評価実施報告書

大阪YMCA国際専門学校

大阪YMCA国際専門学校では、学校教育法および学校教育法施行規則の改正に伴い、学校運営の改善を目的として学校関係者評価を実施しました。この実施報告は、学校関係者への聞き取り調査を基にして作成したものです。

①学校関係者評価委員

在籍生保護者

卒業生保護者

卒業生保護者

学校アドバイザー（人材育成コンサルタント）

学校アドバイザー（カウンセラー）

学校アドバイザー（元高等学校校長）

学校顧問（元大学教授）

学校顧問（ホテル・人事部長、専門学校〔専攻科〕卒業生）

運営委員（卒業生保護者）

運営委員（地域の方）

②学校関係者評価の取り組み（委員会を開催していない）

i) 2009年度の自己点検・自己評価を委員に配布し、個別に取り組み状況について説明

ii) 学校公開

各委員は、過去に学校に関わったあるいは現在関わっている方々なので、授業・行事・施設設備の観察等は行っている。

iii) 学校関係者の意見の取りまとめ

自己点検・自己評価をもとに、自己点検・自己評価委員会委員長が、学校関係者評価委員の方々に聞き取り調査を行い、意見の取りまとめを行った。

③今後の予定

学校関係者評価委員の意見の取りまとめの内容を、自己点検・自己評価委員会で検討し、今年度以降の改善点としてプライオリティーの高いものから順次実施し、年度末の自己点検において評価を加える。

なお、学校関係者評価の取りまとめはホームページに掲載して公表し、その後の改善の実施状況や自己点検と評価は、年度末にホームページに掲載して公表する。

[学校関係者評価委員の意見の取りまとめ概要]

I. 自己点検・自己評価全体について

- ・ 青少年が自らの価値を知り、自信を持って社会に巣立つことを目指すYMC Aの特徴が、国際専門学校という教育現場でよく現れている。(顧問)
- ・ 生涯教育、人間教育、生き方や価値観について、各年代と対象にふさわしい役割とファンクションが明確に提示された中で、教育が行われている。(保護者、顧問)
- ・ いかにも点検・評価であるという点数化されたものでなく、教育の中身が良く伝わる自己点検・自己評価であるが、一方では客観的評価の併用が課題である。(委員、顧問)
- ・ 今後、客観的評価とそれに対する改善のプロセスを、年度ごと学科ごとに示す必要がある。(委員、顧問)
- ・ 本当の国際とは何か、未来への洞察を持った教育とは何かを学校として追求し、そのために何をなすべきかを考えることが必要である。(顧問)
- ・ 産業界等、社会の動向と連動した教育の在り方をより求めることが必要である。(顧問)

II. 個別の項目について

(1) 教育理念に関するもの

- ・ 建学の理念に通じるキリスト教精神（キリストの愛と奉仕に学ぶ）をもっと前面に押し出す方が良い。(委員)
- ・ キリスト教のミッションが、日常活動の中であまり感じ取れない。(保護者)
- ・ 各学科で明示された特色にしたがって、学生・生徒がよく育成されている。(保護者)

(2) 学校運営に関するもの

特にご意見なし

(3) 教育活動に関するもの

- ・ 各学科の育成人材像、教育目標は明確で、それらがよく達成されている。(保護者)
- ・ 若手の教員に対して、授業展開のテクニックや教科知識についての研修がより必要。(アドバイザー)
- ・ 他校との交流・見学により、生徒指導や教科指導の研修を行うことも、検討してはどうか。(アドバイザー)
- ・ 教員としての活動と事務的業務が混在しすぎている。(アドバイザー)

(4) 教育成果と学生・生徒支援に関するもの

- ・ 教職員が熱意を持って、労を惜しまず、学生・生徒のために考え行動している。この熱心さが永続成長する方策を考える。(アドバイザー)
- ・ 情報の共有や試行・点検・ふりかえり・修正、あるいは新しい計画等、停滞することなく行われている。(アドバイザー)

- ・ 社会活動、ボランティア活動の機会が多いので、成長につながる。(保護者)
- ・ 自分を客観視できない生徒への進路指導は、自立性・自主性の尊重だけでは不十分。
(保護者)
- ・ 身体的な面だけでなく、メンタル面でもケアがあるので安心である。(保護者)
- ・ 教職員自身のボランティア活動が地域との交流を進め、学生・生徒に良い影響を与えている。(委員)
- ・ 自己点検・自己評価以前からのアドバイザーの設置が、学校の先進性を示している。
(アドバイザー)
- ・ 学校内の専門家（臨床心理士、特別支援教育士、特別支援教育スーパーバイザー、言語聴覚士等）、学校外の専門機関との連携がよく取れて、生徒の個別の課題に取り組んでいる。(アドバイザー)

(5) 教育環境に関するもの

- ・ 教室毎の机・いすのタイプが不揃い。(アドバイザー)
- ・ 個人用機の机上面が狭い。(アドバイザー)
- ・ 非常勤教員の事務スペースが狭い。(アドバイザー)
- ・ 夏の空調が効きすぎて、女子生徒にはつらい場所がある。(保護者)
- ・ 日常的には体育館を使った体育活動に限定されるが、YMCA総体で保有する研修センターや海洋センターを用いて、学校行事としての体育活動・野外活動を展開してうまく補っている。(アドバイザー)
- ・ 国内研修や海外研修が、一人ひとりの成長に大きく関わっている。(保護者)

(6) 学生募集と受入に関するもの

- ・ 募集段階から、対象者の入学前の状況の把握に努めている。(アドバイザー)
- ・ 学費は高いが、学生・生徒の少人数制と教職員数のバランスを考えると、十分な価値があり、よくやっている。(保護者)

(7) 財務に関するもの

特にご意見なし

(8) 法令などの遵守に関するもの

特にご意見なし

今回は、(2)、(7)、(8)に対するご意見が出なかったが、これは学校関係者評価委員のメンバー構成によるところが大きいと思われる。また一方では、これらの項目は学校関係者の評価ではなく、学校が行った自己点検・自己評価に対して第三者評価がふさわしいと感じる。